



## 選択：「大変な方」を選ぶ

生徒たちにとって学校生活は、全てが学びの場です。授業や行事だけじゃなく、生徒会活動、掃除や当番、受検など、それぞれが、生きて働く力をつける上で大切な「自分を鍛える場」です。そして、どんな選択をしていくか（これが大事）、それらがこれからの人生を左右し、彩っていきます。

「選択」については、始業式でも話をしました。特に伝えなかったことは「楽な方を選ぶな、大変な方（自分を鍛える方）を選べ」ということ。昔から言われる「苦勞は買ってでもしろ」とは、私のつたない人生でも的を射ていると感じます。そんな大変なこととじゃありません。例えば、廊下を歩いていてゴミを見たとき、「拾うか、過ぎるか」ということです。また、何かをしてもらったときに「ありがとう」と言うか言わないか。そんな日常のほんのちよつとの差が人生を変えていくのだと思います。こんな視点で生徒たちとともに歩いていきたいと思えます。今学期もよろしくお願ひします。

## 二学期に行うこと

左は、二学期の見通しです。さまざまな行事や活動があります。その中で三年生の進路に関する手続きがいよいよ本格的に始まることに御留意ください。進路のことを進める上で大事なのは「生徒自身が決める」ということです。高校を卒業したあとのことも含めてしっかりと考えさせていきたいと思ひます。

九月一日：始業式

九月十二日～十三日：職場体験学習（二年生）

十月三日：市中体連駅伝大会

十月十八日：進路説明会（三年生）

十月十八日・十九日：中間テスト

部活動 新人大会

十月二十五日～二十七日 修学旅行（二年生）

十一月二日

文化学習発表会・合唱コンクール

十一月七日～十七日：三者面談（三年生）

十一月二十七日～二十九日：期末テスト

十二月五日：生徒会役員改選

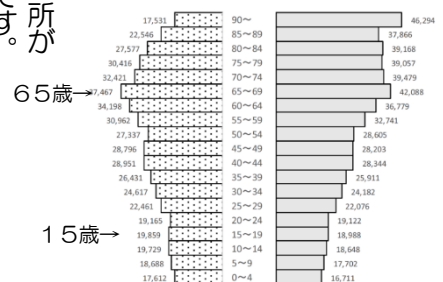
十二月七日：学年育友会

十二月七日：人権集会

十二月二十二日：終業式

「人口が減っても 前向きに生きる」

下の図は、南島原市の約二十年後の年代別人口をピラミッド状に表したものです。下の方（年代が若い人たち）が多い形が望ましいのですが、御覧のように下が細く65歳の所が太い「つぼ型（しかも細い）」です。



本市の人口は、右下のピラミッド（…というよりも、逆三角形）の下の方が上にすれてくるので、今後減り続けることが「確定」しています。このことに正面から向き合って、明るく前向きに、いろんなアイデアを出し合って生きていく！と覚悟を決めることが必要なのだ、最近、つくづく思います。

二〇四〇年（17年後）の南島原市の予想人口は、約二万八千人です。（長崎県二〇四〇年研究会報告から）

### 《 主な行事予定 》

- 〈9月〉
- 4日（月） 身体測定
  - 5日（火） 自転車点検
  - 12日（火） 職場体験学習 ～13日（2年生、要弁当）
  - 14日（木） 教育相談 ～28日
- 〈10月〉
- 3日（火） 市中総体駅伝大会
  - 6日（金） 英語検定
  - 12日（木） 実力テスト（3年生）～13日
  - 18日（水） 中間テスト ～19日
  - 進路説明会（3年生）
  - 25日（水） 修学旅行～27日（2年生）

《心に響いた言葉》 「2学期は多くの行事があるのでがんばりたい。」 / 始業式2年生代表田口君の決意の言葉から2年生の2学期は、文化学習発表会などのほか、修学旅行や生徒会役員改選もあります。期待しています！

シリーズ「教育を取り巻く社会の動向」

長崎県教育振興基本計画から

〈第六回〉

## 価値観や生活様式の多様化

長崎県の教育振興基本計画には、今回のテーマについて、次のように記載されています。

少子高齢化や核家族化、都市化などの社会の急激な変化を背景として、物質的・金銭的な豊かさよりも、心の豊かさを求め、健康で生きがいのある人生を過ごし、自己実現を図ることを求める傾向へ変化しつつあるなど、人々の価値観やライフスタイルは多様化しています

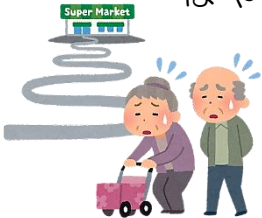
一方で、人間関係が希薄化し、地域の大人が地域の子どもの成長に関心を払わなくなっているため、地域社会での支え合いによるセーフティネット機能が低下しているなどの指摘もあります。

また、本県においても一世帯当たりの人員は、昭和40年代前半は4人を超えていましたが、核家族化が進行し、平成27年には2.37人まで減少しており、子育て家庭の社会的な孤立や、親が身近な人から子育てを学ぶ機会の減少など、家庭教育環境に変化をもたらしています。

お気づきの方もいらっしゃるかと思いますが、数年前に提示された

この記事には「GBTQや人口流出に関連することは

ありません。それだけ社会の変化が急激であることを実感させられます。



〈そこで、中学校（本校）では〉

## 誰もが幸せに 生きる社会を めざして

めざして

文部科学省が学習指導要領を示す中で取り上げている考え方の一つに、「ウェルビーイング」というものがあります。

（以下、枠内参照↓）

このウェルビーイングの対象は、今回のテーマである「人の価値観や生活様式」だけではないのですが、「貧困への対応や健康の確保、質の高い教育、ジェンダーの平等 など」も挙げられています。根っここの部分では深く関わり合っています。私なりの解釈をすれば…、

互いに価値を認め合い、力を合わせて、

よりよい生き方を目指している状態

というところでしょうか。

この実現のためには、教育活動を進めることがもとより、身近にいる大人が手本を示すことが重要だとも考えています。「明るく元気に、他の人と仲良くしながら、前向きに何かにチャレンジして生きて生き生きとして幸せそう」そんな大人が傍にいれば、ウェルビーイングのイメージも持ちやすいのではと考えています。

〈ウェルビーイング (Well-being) とは〉  
その意味は、「良好な状態」または「心身ともに健康で持続的に幸福な状態」ということです。これを実現させるためには、子どもたちが「自ら主体的に目標を設定し、振り返りながら、責任ある行動がとれる力を身につけさせることが重要です。」（中教審答申から）

ふるさとの文化・歴史・人物——口之津中教育の視点から

## 「言葉（方言）」

言葉は文化を表すとされます。島原半島に伝わる言葉も、万葉集や源氏物語に記されているものもあり、実に奥が深いです。

さて、ここで問題です。左表の上と下、同じ意味と思うものをつなげてみましょう。

〈全問正解者は立派な「南高人」です。〉

島原半島に  
伝わる言葉

現代語

よんべ	・	無理やり
かてる	・	急いで
くやす	・	蟻
たまがる	・	驚く
あたん	・	たくさん
よんにゆ	・	昨夜
あせがって	・	加える
すがね	・	崩す
しゃっち	・	昔
しよーて	・	あなた



## 熱中症や暴風雨への対策について

暑さはまだまだ続くと思われています。久しぶりの終日学校での生活ですので、水分を多めに（大きめの水筒で）持たせてください。

また、台風や線状降水帯の発生も心配です。ホームページに各種のマニュアルを載せていますので、御確認ください。

